

▼有田コンピュータの目的▼

有田コンピュータは「IT事業を通じ地域に貢献する事」

「顧客のパソコンによる業務改善を追求し、互いに利益を創り出し発展していく事」を目的として活動しています。

配色について考えてみよう

赤色なら暑い・熱い、青色なら寒い・冷たいというように、「色」は様々なイメージがあります。そのことを忘れて配色をしてしまうと、内容とはまったく違うイメージに仕上がる場合があります。

企画書を読む前からイメージが伝わるような、内容に合った配色を心がけましょう。

色が与えるイメージ

企画書のイメージに合った色で書類を構成することは、とても大事なことです。

言葉と色彩の関係の例を右にあげています。

自分の好みの色に囚われることなく、企画書のイメージに合った配色を考えてみましょう。

雑誌の商品広告などもとても参考になります。



和風



落ち着いた



高貴



女性的



男性的



暖かい

色の使い方

例えば今回は、「和風」なイメージで構成しようと思つたとして。

では、どんな場所でどんな風に使ったらいいのでしょうか？

文字自体に色をつける場合は、タイトルなど、いちばん目立たせたいところのアクセントとして。またポイントとなる箇所に絞って使用しましょう。

すべての文字に色を使ってしまうと、統一感がなくなってしまうので、本文の色は黒なら黒で統一するのが大事です。

色をつけた文字の背景に色を敷くと、よりインパクトが出ます。

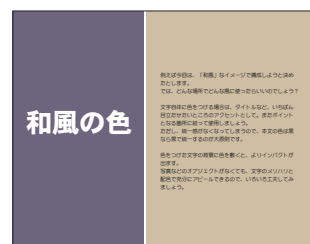
写真などのオブジェクトがなくても、文字のメリハリと配色で十分にアピールできるので、いろいろ工夫してみましょう。



タイトルとページ上下に色をつけた場合



タイトルの背景とページ上下に色をつけた場合



ページ全体には配色をした場合

編集者より：同じイメージの広告やパンフレットの色使いを参考にするのも良いかも知れません